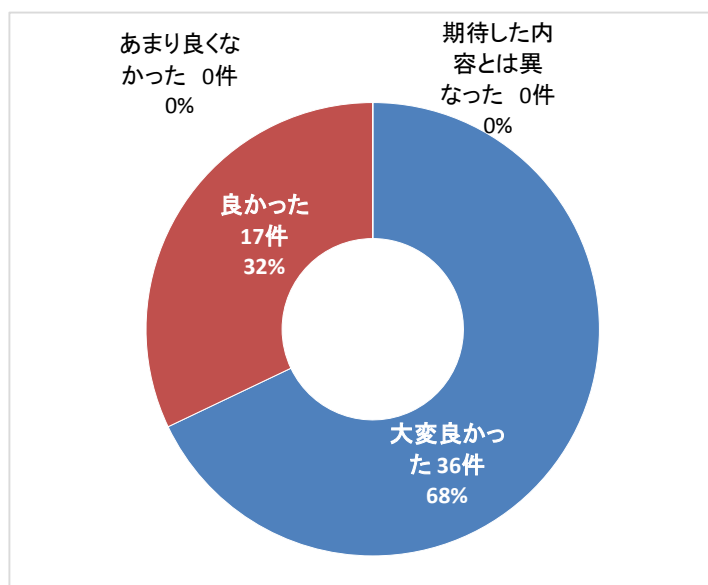


別紙 アンケート結果

以下の通り。有効回答数は53件で、自由記述は、文意を変えない程度に事務局で編集した。

(1) 研修会についてのアンケート結果

【質問】 今回の研修会について、事前課題から事後課題まで含めて評価してください。



【質問】 今回の研修会についてのご感想、及び次回以降の研修会についてのご意見をご記入ください。

内容全般について

関西館会場	東京本館会場
<ul style="list-style-type: none">登録が以前よりも身近なことに感じられるようになった。何をどのようにどの程度入力すればいいのか、曖昧なまま手探りで入力を行っていたので、その辺りの話を聞くことができて良かった。テキストだけでは自信が持てなかったことも実際にレクチャーを受けることによってより自信を持って他の職員に伝達できるようになった。レファレンス業務担当になってから日が浅く慣れていないので、研修を受けることができて良かった。一般市民にわかりやすい書き方、図書館を普段利用しない一般市民の方々にも図書館のレファレンスの便利さや有益な情報を発信することの大事さを学んだ。本来のレファ協の目的に沿った運用は、本学では当面できそうもないが、運用に自由度が高いことが分かったため、使ってみようという気持ちになった。	<ul style="list-style-type: none">事例の改善点を考える作業によって良い事例にするためのチェックポイントが理解でき、今後編集を行うにあたり、とても参考になった。レファ協の担当になったばかりで不安が多かったが、登録してデータベースを活用する方法がわかった。事例の登録の仕方がみっちり学べた。国会レファ協DBは、実は参加館が使いやすいように使ってよいことが改めてよくわかった。レファレンス協同データベースの概要や仕組みと、よりよい事例登録の仕方について同時に学ぶことができ、とても有意義だった。研修会のレベルが高くてついていけないと思った。「自分でわからない時は他の人につなぐのも担当者の務め」という講師の話が心に残った。レファレンス協同データベースのシステムの全体的な概要が理解できた。

<ul style="list-style-type: none"> データ登録へのハードルが低くなったように感じられた。 	<ul style="list-style-type: none"> データベースの事例総数を増やすことに、参加館として微力ながら尽くしたいという気持ちになった。 まさにこれからレファ協にデータ登録を行っていくという時期に研修が受講でき、とても良かった。全くの初心者である自分にも有意義な講義の内容だった。他の担当者に次回以降の受講を勧めたい。 レファ協は少し敷居が高いという意識があったが、事例選択の意識にとらわれ過ぎず、まずは登録してみることにについて、背中を押された。 今回の研修会参加により、レファ協の理念、登録のポイントがわかった。参加しなければ、ポイントがわからないまま、わかりにくいレファレンス事例を登録するところだった。 単に資料をいただいて講義を受講する、という形式ではなかったのが、とても良かった。
--	--

講義、資料について

関西館会場	東京本館会場
<ul style="list-style-type: none"> 午前の、システムへの入力方法や便利な使い方の講義が非常にありがたかった。 午後の研修は討議もあり緊張感を持って取り組むことができた。事前課題も取り組み甲斐のある内容だった。 独自で入力作業をしていた方法と、今回教えていただいたものが違っていたので、勉強になった。 知らなかった機能や使い方などについて知ることができ大変勉強になった。 回答プロセスの書き方や、調査資料をどこまで載せるか等、事例を登録する際の疑問点が解消された。 午前の研修は、後日資料をダウンロードできたので、研修した内容を再活用しやすく、学んだことを受講者が自分の番として伝えるということがしやすくありがたかった。 研修のパワーポイント資料をいただけて、大変ありがたかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 後半の個別事例の解説は分かりやすかったが、前半の登録の仕方の部分をもう少し詳しく聞けるとなお良かったと感じた。 データベースの登録方法に重きをおいた説明は、とてもわかりやすかった。 自分の知らない機能や検索されやすいデータ作りの紹介はたいへん有用で、今後データ作成の際に役立てたい。 レファ協の登録件数がまだまだ足りないということがわかった。クイックレファレンスを登録していけるような運用を、館内で考えていかななくてはならないと感じた。 ガイドラインについての解釈と、フォーマットへの登録の解説によって、登録するハードルが下がった。 質疑応答の時間に余裕がほしい。

事前・事後課題について

関西館会場	東京本館会場
<ul style="list-style-type: none"> 提出物に関して、状況が厳しかった。(案件登録に関して、業務フローがあるもので…) 事前課題があったことで研修当日の内容もよく理解できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前課題、事後課題があることにより、実際にレファレンス協同データベース・システムを操作することができたのが良かった。 研修用ページで、普段の事例登録では利用しない機能がどのようなものなのか、気軽に試すことができたのも良かった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前課題に講師や参加者が互いにコメントする方式は、ぜひ自館の研修会でも取り入れたい。 ・ 事前課題、事後課題は受講生も負担が大きいですが、講師の方々も添削が大変だと思う。講師、事務局の方々のレファレンス協同データベースに関する熱い思いを感じた。 ・ 自分の登録した事例について具体的にアドバイスを受けられ、事後課題のデータ整備で実際に修正を行う点がよかった。 ・ コメント機能による他機関からの情報が情報交換という意味でも非常に有効であることを知ることができた。 ・ 事前・事後の課題が大変だったが、事前課題で実際に登録をしてみて、システマティックにできていることがわかってよかった。 ・ 他の参加者の事前課題が参考にもなり、事後課題で、同じ事例登録をすることで振り返りの学習ができ、よかった。 ・ 事前課題によって登録を体験し、他の参加者の課題を見て、意見を聞くことで、多くの例を身近に感じつつ取り組むことができた。登録経験の少ない自館のような参加館には特に、非常に有益な研修だった。 ・ すべての事前課題について、講師のアドバイスが聞けるとよかった。
--	--

グループ討議・他館との交流について

関西館会場	東京本館会場
<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段これだけ他業種・他府県の図書館の職員の方々とお話しすることはなく、貴重な機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他館の現状を知る機会が持て、勉強になった。 ・ 各グループの討議はとても面白かったが、時間がギリギリになってしまったので、テーマは1つだけでももう少し深く討議出来たらと思った。 ・ 他の図書館の方と話をする機会は、ふだんあまりないのでディスカッションはもうすこし時間をいただきたかった。 ・ 研修中のグループワークや懇親会で、実際に参加館の方とお会いして情報交換ができた事は大変有意義であった。今後もフォローアップ研修やコメント付与機能を使って他館と情報交換をし、交流を深められたらと思う。 ・ ディスカッションは同一テーマではなく、グループにより2～3の違ったテーマを扱っても面白い。 ・ ディスカッションと発表に時間が割かれ、研修時間がたいへん短く感じられた。全体の研修時間を長くしても良いと思う。

今後の要望

関西館会場	東京本館会場
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国会図書館の基本的な使い方などや、基本的なレファレンスの講習があれば嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立国会図書館の館内を簡単に案内してもらえるとよかった。

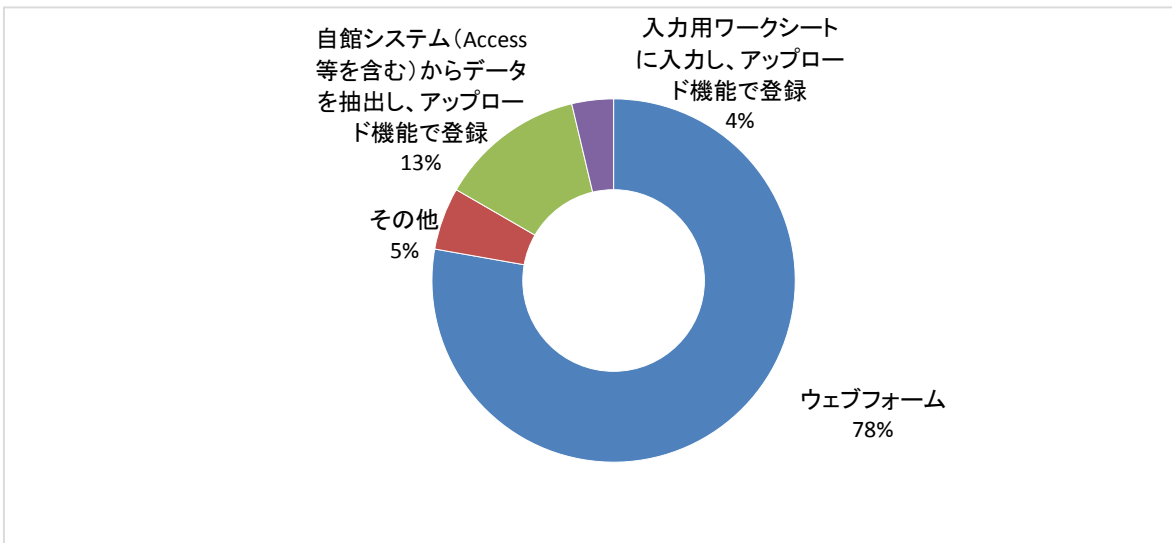
<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者向けだけでなく、上司向けの研修もあればと思う。 ・ 各館によるレファ協の実践事例を直接聞いてみたい。 ・ アップロード方法を実習として講義してほしい。 ・ 午前の講義の内容をもっと詳しく聞きたかった。もっと時間が欲しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ せっかくの講義が時間に追われてしまっているようだったので日程を2日間にわたって行ってはどうか。 ・ 事前課題でそれぞれが登録したレファレンスを講師と一緒に確認する内容にもっと長く時間をさいてほしい。 ・ 都道府県単位での研修会の企画は可能か。 ・ 本市のレファレンス担当が全員受講したいので都道府県単位で(東京都は区と市町村を別に)研修会を実施し、頻度も上げてもらえるとありがたい。 ・ より技術的なこと(APIや登録データのアップロードの仕方など)のデモンストレーションを見たり、自分で体験してみたりできる研修が別にあればと思う。 ・ 年にあと1回くらい開催があると職員を派遣しやすい。(他館との事例の交換による研修の効果が大きかった)
--	--

その他

関西館会場	東京本館会場
<ul style="list-style-type: none"> ・ 滞っていた登録作業をどのように進めていくか担当間で話し合うきっかけができた。 ・ やや室温が暑かった。 	

(2) レファレンス協同データベース事業についてのアンケート結果

【質問】貴館のレファレンス協同データベース・システムへのデータ登録方法を選択してください。



【質問】 レファレンス協同データベース・システムについて、現システムへのご意見や、次期システムへのご要望等をご記入ください。

ログイン・トップ画面について

- ・ トップページに、レファ協とはどういったものか、説明されておらず、不親切。
- ・ 「館内お知らせ」を目立つ位置に配置してほしい。
- ・ 「おすすめデータ等」内の「ベーシック一覧」や「テーマ別一覧」など、見て面白いし役に立つと思うが、場所がわかりにくい。
- ・ 全体的にユーザインターフェースがごちゃごちゃしている印象がある。とくにログイン前のユーザインターフェース。
- ・ IPアドレス制御や館独自の URL の発行（など）により、当該機関内でその館の事例を閲覧できる仕組みがあると大学図書館や専門図書館では活用の幅が広がるのでは。

検索・データの表示について

- ・ Twitter との連携やおすすめデータはつい見ってしまう。雑学的な感じで楽しい。
- ・ データに掲載されている URL は別ウィンドウで開くなどの細かい点を改良してほしい。
- ・ 任意のタグをつけることができ、自館データを参照した際に、左カラムに表示されるとありがたい。
- ・ 自館データを参照した際の左カラムに「NDC」などが表示されるが、記入していないものは各項目の一番下に「未登録」として表示されると記入漏れに気づきやすくなる。
- ・ 自館データを参照した際の左カラムの「調査種別」などの並び順において、例えば「文献紹介 所蔵調査」と「所蔵調査 文献紹介」で別物としてカウントされてしまうのを改善してほしい。
- ・ 調べ方マニュアルを印刷したとき、使いやすいフォーマットにしてほしい。
- ・ 事例データ内のキーワードが他の事例の同キーワードとリンクされていれば、同様の事例参照が容易になりそう。
- ・ 登録した自館データについて、分類別に一覧で見られたり、それをリストとして印刷できたりすると、ありがたい。

データ登録についての要望

- ・ 入力したデータを一旦更新しないと、その内容が消えてしまうのが不便。／事例を入力した際、一時保存ができないことが不便。
- ・ 2年ほど入力していなかったが、入力しやすくなっていると感じた。
- ・ 参考資料入力で国立国会図書館サーチのデータを引いてくる機能で書誌が著者からはじまっているのが、一般利用者にはなじみにくいのではないか。／「参考資料」のデータは書名が最初になった方が、見やすい。
- ・ 「内容種別」や「質問者区別」に、自館独自の設定のような機能で項目を追加したい
- ・ 編集時に、事例作成日の項目が上部にあると良い。
- ・ ローカル項目のひらがな入力（スペースやハイフンだけでも）

- ・ ウェブフォームで入力する時、回答や回答プロセス欄の表示が小さい。
- ・ データ入力に関して、入力欄がスクロールされるのではなく、全体表示されるほうがありがたい。
- ・ 参考文献や回答プロセスの入力をするときに（NII や国立国会図書館サーチのデータとリンクしていれば）自館のバーコードをスキャンすることで、書誌情報が記録できるとよい。
- ・ 入力するたびに前回の入力を見ながら入れているので、入力フォームに記載例のようなものがあるとよい。
- ・ NDC 欄もキーワード欄と同じように追加で増やせたら良い。
- ・ 事例の入力欄が時系列順に並んでいるとわかりやすいのでは。登録後に検索して見るときは、現在の様式が良い。
- ・ 「事前調査事項」が質問者から詳しく聞き取った内容を入れる項目であることが一見してわかりづらいので「質問内容詳細」等の項目名に変更するとよい。

アップロードなど

- ・ 一括アップロードの方法について、手順などわかりやすい場所に記述があれば。

参加館支援機能

- ・ コメントなど参加館支援機能は、資料やマンパワーが不足している市町村図書館にとっては大変ありがたい。
- ・ 参加館全体の統計情報を確認するとき、ブラウザ上で並べ替えができると良い。
- ・ コメント内容によっては再調査が負担になる場合もあり、特に情報提供を求める場合はその意思と、特にどういった内容を求めているかを表示できると良い。

その他の機能

- ・ リンク切れチェッカーの機能があればと思う。
- ・ 検索して出てこなかった事例。検索後 0 件であったキーワードを収集し、リスト化してもらいたい。レファ協に求めている事例が何であって、何がまだ足りないのかも興味がある。
- ・ 新たなデータとして「レファレンスツール」の追加を提案する。どの分野にも“これ”というレファレンスツールがあり、その解題や具体的な使い方を記載したデータとコメントを蓄積し、レファレンスに活用するもの。
- ・ レファレンス事例について、検索結果や自館データの一覧を表示するページの「質問」を全文表示してほしい。または、「質問」が全文掲載されている、登録事例一覧ページがほしい。
- ・ 登録事例のバックアップは充分とは思いますが、心配はないか。レファレンス事例を自館システムに入力せず、直接レファレンス協同データベースに入力するという選択に、この点で躊躇する同僚がいる。

【質問】レファレンス協同データベース事業の今後の展開について、ご意見、ご要望等をご記入ください。

システムについて

- ・ 児童対象として登録されたレファについて、子どもが一人でも調べられる（ふりがな付で文章が読めたりする）専用ページなどでの展開があれば面白い。
- ・ メール通知やコメント機能、拍手機能など、役立つだけでなく楽しい機能が増えていくのも期待。

データについて

- ・ 1件でも多く事例がある方がやはり良い。
- ・ 今後参加館が拡大し、登録事例が増加するにつれ、登録館違いで同一内容の質問への回答事例が重複して存在することが増えていくと思うが、同一の質問内容については統合する可能性はあるのか。
- ・ 誹謗中傷等が心配だが、一般の方からもコメントを頂けるようになったら理想的。
- ・ 登録事例を公開しやすくするための推薦制度を設けてはいかがか。
- ・ まだまだ、レファレンスの登録数が足りないと今回の研修で初めてわかった。クイックレファレンスでも積極的にのせていきたいので、内部で提案していこうかと思う。
- ・ 課題に対し、コメントで参考資料の紹介や URL を教えてもらったりできることは、有効なことだと思った。
- ・ 各図書館の過去の企画展示についてのデータベースがあれば面白い。
- ・ よく見られている事例やジャンルのランキングがあると、登録する側のモチベーションも上がる。

対外コミュニケーション

- ・ 調べ方マニュアルや特別コレクションはあまり活用できていないので、もっとアピールするとよい。
- ・ 登録館が増え、多くの事例が閲覧できるようになるとよい。
- ・ 「レファレンス」という言葉を普通に認知してもらえるようにすることが必要。
- ・ レファレンス協同データベースをもっと身近に感じてもらえる取り組みが必要。
- ・ 一般の方にももっと存在を知ってもらえるよう広報の取り組みに力を入れるべき。
- ・ ぜひ小・中学校に積極的に参加を促していただきたい。
- ・ さらにレファ協のコミュニティを活性化させてほしい。
- ・ 広報を活発に行って、利用者や図書館職員への認知度が高まると、より登録が増やしやすいく。
- ・ 図書館以外の博物館や研究機関などにも参加を呼びかけてほしい。
- ・ 一般公開が進むような仕掛けを今後もお願いしたい。
- ・ レファレンス協同データベースの量・質を向上させるため、他の図書館にも登録を呼びかけたい。
- ・ 事例数が増えるよう、当館でも積極的に登録を続けたい。
- ・ 登録件数を増やしていくことで日本の図書館サービスの顔となれるよう引き続き事業を展開してほしい。当館も協力をしたい。
- ・ 研修後、参考室内のメンバーにレファ協の入力について伝え、現在、過去の事例を「自館

のみ」で少しずつ登録を始めた所である。研修を受けた事で、周りの仲間も関心を持ってくれたので、多くの人が研修に参加できるようなプログラムや機会を増やしていただけたらと思う。

- ・ 学校という組織だと公文書で加入をしてもらえるとやりやすいので、引き続き発行してもらえるとよい。
- ・ レファ協事業を軸に館種を超えた研修やワーキングが増えるよう、国公私立大学図書館協力委員会、専門図書館協議会、学校図書館協議会等の協力が必要。
- ・ 登録をしたことのない館へ別途フォロー（研修等）をすると始めやすいかと思う。
- ・ 本研修はモチベーションを高めるよい機会。継続的な実施を望む。
- ・ 学校図書館、公文書館などあらゆる図書館が気楽に参加できる、楽しいシステムが展開されるとうれしい
- ・ 更にレファレンス協同データベース事業担当者研修会に参加した館へのフォローアップ研修を行って欲しい。（インターネットを通じ提供する遠隔研修の様な形でも）
- ・ 公共図書館の児童サービス担当に対してもレファレンス協同データベースの研修を行ってほしい。
- ・ 多数の学校図書館の参加により、児童サービスでのレファレンス事例活用の推進を期待する。
- ・ 今年度から学校図書館が参加館として加わったということなので、レファ協を調べ学習に役立てた事例などの報告を聞きたい。
- ・ 参加館ならではのメリットがあればいい。例えば、参加館同士での複写依頼の場合は無料にする等。
- ・ レファレンスの基礎などを参加館で確認できるような仕組みがあれば良いのではないかと感じた。
- ・ データベースをよりよくするために、もっと図書館員に積極的にコメント付与を促すような取り組みがあるといい。

(3) その他、国立国会図書館の図書館協力活動について、ご意見、ご要望等ありましたらご記入ください。

- ・ 国立国会図書館のデジタル化資料の複製や便利な利用法などの情報提供をお願いしたい。
- ・ 電子資料をもっと見ることができるようになるとよい。
- ・ 都道府県立図書館でこのような研修の出張講座があればもっと多くの担当者が情報を得ることができる。
- ・ 秋には、当館に講師派遣いただくことになっており、期日が過ぎていたにも関わらず迅速な対応に感謝している。
- ・ 利用者からの情報の引き出し方、（レファレンスインタビュー、レファレンス会話、レファレンスコミュニケーションなど）を学ぶ研修をひらいてほしい。機会があったらぜひまた参加したい。
- ・ 研修会のあともしっかりとフォローのメールがあり助かった。APIを活用して、どんどん一般公開していきたい。
- ・ 公共図書館で予算も無い為、費用がかからずに、効果的な展示をして集客するノウハウな

ど、図書館の企画展示についての講座や講習会があれば是非参加したい。

- 館種毎の著作権についての講習をしていただけたら。
- 例年、冬に東京で開催されているレファレンス研修は、公共図書館の経験者対象となっているが、学校図書館職員も対象にした研修も作ってもらいたい。
- レファレンス協同データベースやカレントアウェアネス・ポータルなどおもしろい活動をしている印象。
- 国立国会図書館の図書館協力活動は、図書館及び図書館職員にとってのインフラであり、ブレイクのような存在。今後も積極的に関与できればと思っている。今後も、国立国会図書館の方以外も巻き込んだ活動をぜひ展開してほしい。
- 文献複写を依頼するときに、原則関西館に依頼しているが、同一利用者が東京本館と関西館両方に依頼し、東京館しか持っていないものがある場合、送料負担を軽くするために東京館から発送してもらえると助かる。
- 公共・学校・専門・大学という枠を越えて「図書館」が社会に果たす存在意義を示せるように、図書館協力活動を進めていただければと思う。